

## 平成23年度北海道地方非常通信訓練の実施結果について

### 1 訓練の目的

本訓練は、災害想定の下で実践的な訓練を行うことにより、平常時使用している通信手段（公衆通信網）が使用できない状況下における非常通信ルートの検証を行うと同時に、訓練参加者の非常通信に関する認識の向上を図ることを目的としています。

- (1) 非常通信事務必携に記載されている「地方通信ルート策定のための指針」に基づく、道と市町村間の通信ルート（以下「地方通信ルート」という。）の策定又は検証。
- (2) 複数の市町村が訓練に連携参加することによる市町村同士間の通信ルートの検討。
- (3) 被災想定市町村と避難場所等（地域防災計画で指定されている避難場所等）の間の訓練  
必要に応じて、市町村防災行政無線や当該市町村内に存在する自営系無線を活用した、被災想定市町村役場と避難場所等の間における通信ルートの策定又は検証。

### 2 実施日

平成24年3月23日（金） 13時30分～16時（終了時間は予定）

### 3 実施地域（訓練参加機関）

北海道（本庁）、根室振興局、根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町

### 4 災害想定（種別・条件）

#### (1) 災害の種別

##### ア 発生日

平成24年3月23日（金） 13時30分頃

##### イ 災害の概要

根室沖を震源とする地震が発生し、多数の建物に被害が発生している。また、根室地方の沿岸に津波が押し寄せる可能性があるため、沿岸地区の多数の住民が高台の避難所に避難した。

#### (2) 訓練の条件

ア 電気通信事業者が提供する通信設備は、輻輳等のため使用不可能。ただし、孤立化防止対策用衛星電話及び衛星携帯電話は使用可能とする。

イ その他、通常の通信ルートは、通信の途絶又は輻輳の発生のため使用不可能。

### 5 通信ルート

P22 のとおり

### 6 訓練結果の総評

訓練参加機関の選定にあたっては、過去の訓練実施状況を踏まえ、また、北海道（本庁）とも調整の上、地震と津波による大規模災害を想定し沿岸地域を多く含む根室地方の自治体を選定した。

訓練に要した時間（往復伝達時間）は、全体で2時間25分であり、概ね良好に実施できた。

### 7 問題点及び課題並びにその改善方策

- (1) 通信機器のトラブルはなかったか（機器の故障、機器の取扱方法の未習熟）  
当初、衛星電話の音声伝わらなかった機関があった。
- (2) 計画どおり通信できたか（ルートどおり実施されたか、異なる通信手段を用いていないか）  
衛星電話不可の間、防災電話で連絡した。
- (3) 訓練情報をきちんと取り扱っているか（訓練用紙の使い方の誤り、指示した訓練用紙を使っている

か)

問題なし

(4) 大幅な遅延区間はなかったか

受信メールの確認に時間を要した機関があった。

(5) 東日本大震災の教訓を踏まえた訓練内容を実施できたか。(非常用発電機を実際に稼働した訓練を行ったか等)

一部非常用電源を利用せずに実施した機関があった。

## 8 策定した地方通信ルート

(1) 訓練で実施した地方通信ルートの有効性

実際に則し、電子メール及び衛星電話による複数ルートでの訓練としたが、有効であった。

ただし、実際の災害時には電子メールによる通信は行えない可能性を考慮する必要があるとの指摘があった。

(2) 地域防災計画及び地方通信ルートへの反映状況

反映済み

なお、今回使用したルート以外にも、有効な方法があれば通信に利用するよう検討するとの機関があった。

## 9 複数市区町村の訓練参加について

(1) 実施状況及びその結果

広域にわたる災害を想定し、1 振興局管内の全市町を参加機関としたが、良好に実施できた。

(2) 問題点及び課題並びにその改善方策

なし

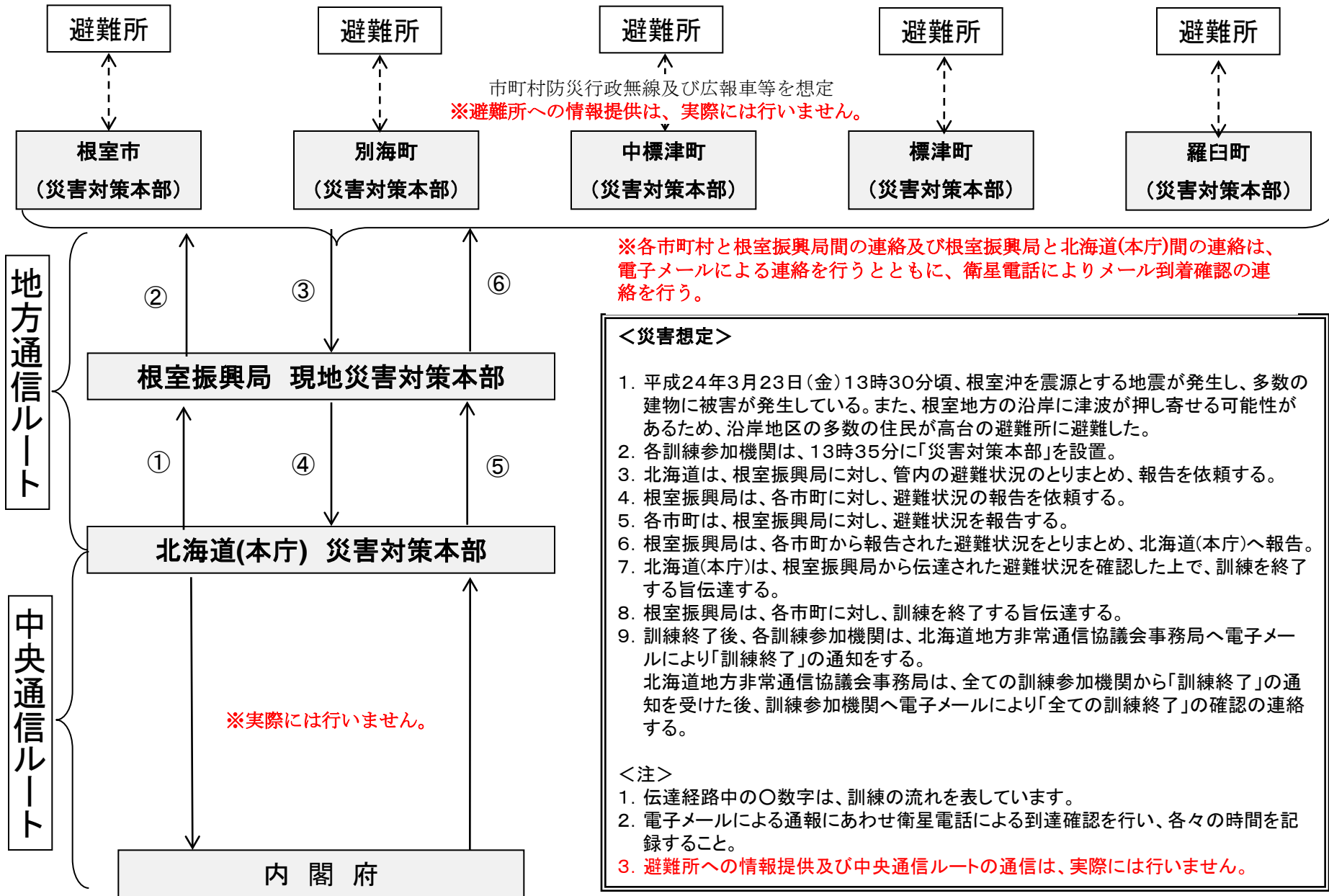
## 10 その他（訓練への提案・意見等）

(参加機関からの提案・意見等)

- ・災害時には衛星電話が有効な通信手段であるため、訓練の実施により非常時に使用する場合、スムーズに通信できる。
- ・衛星電話のやりとりでやや手間取り、時間がかかってしまった。普段、衛星電話を使うことはないの  
で、訓練などでの使用は非常時に役立つと感じた。
- ・管内の市町は5つだが、今回指定された連絡先が1つであるため、なかなか繋がらなかった。担当者が他にもいるなら複数あると更に素早くできると思う。
- ・東日本大震災を教訓にし、災害時での通信の確保ができるよう検討し、早急に改善する必要があることを、今回の訓練に参加して改めて認識した。

# 平成23年度北海道地方非常通信協議会非常通信訓練 通信ルート・災害想定

(実施日時:平成24年3月23日(金) 13時30分～16時(終了時間は予定))



市町村防災行政無線及び広報車等を想定  
※避難所への情報提供は、実際には行いません。

※各市町村と根室振興局間の連絡及び根室振興局と北海道(本庁)間の連絡は、電子メールによる連絡を行うとともに、衛星電話によりメール到着確認の連絡を行う。

### <災害想定>

1. 平成24年3月23日(金)13時30分頃、根室沖を震源とする地震が発生し、多数の建物に被害が発生している。また、根室地方の沿岸に津波が押し寄せる可能性があるため、沿岸地区の多数の住民が高台の避難所に避難した。
2. 各訓練参加機関は、13時35分に「災害対策本部」を設置。
3. 北海道は、根室振興局に対し、管内の避難状況のとりまとめ、報告を依頼する。
4. 根室振興局は、各市町に対し、避難状況の報告を依頼する。
5. 各市町は、根室振興局に対し、避難状況を報告する。
6. 根室振興局は、各市町から報告された避難状況をとりまとめ、北海道(本庁)へ報告。
7. 北海道(本庁)は、根室振興局から伝達された避難状況を確認した上で、訓練を終了する旨伝達する。
8. 根室振興局は、各市町に対し、訓練を終了する旨伝達する。
9. 訓練終了後、各訓練参加機関は、北海道地方非常通信協議会事務局へ電子メールにより「訓練終了」の通知をする。  
北海道地方非常通信協議会事務局は、全ての訓練参加機関から「訓練終了」の通知を受けた後、訓練参加機関へ電子メールにより「全ての訓練終了」の確認の連絡する。

### <注>

1. 伝達経路中の○数字は、訓練の流れを表しています。
2. 電子メールによる通報にあわせ衛星電話による到達確認を行い、各々の時間を記録すること。
3. 避難所への情報提供及び中央通信ルートの通信は、実際には行いません。